


まほろば秦野通信

平成27年5月1日

タイトル	美しい緑のコントラスト 里山のパッチワークのような森林が見ごろ
When (いつ)	5月上旬
Where (どこで)	渋沢丘陵（震生湖駐車場）からの景色
What (なにを)	名水の里山で新緑のパッチワークのような風景が見ごろです。
How (どのように)	秦野駅南口から名水百選「秦野盆地湧水群」の湧水地を抜けて渋沢丘陵にある震生湖駐車場から丹沢山地を眺めると新緑のパッチワークが見えます。
Why (なぜ)	<p>名水百選にも選定される湧水群を持つ秦野。県内唯一の盆地であり、地下には芦ノ湖の1.5倍の約2.8億トンの水が蓄えられています。この豊富な地下水が市内のいたるところで湧き出て、昭和60年には、名水百選に「秦野市盆地湧水群」が選定されました。豊富な湧き水を保つことができる要因の一つに豊かな森林が挙げられます。多くの自然を残す本市。昔特産品だったたばこの葉を乾燥させるのに使われた薪用に、市内の里山ではクヌギやコナラなどの落葉樹が多く植樹されていました。標高300m以下にある現在でも残るその木々は、湧水の源になっているほか、毎年この季節に若葉をつける姿は、濃い緑の葉を持つスギやヒノキなどと合わせて、パッチワークのような景色を作り出します。</p> 
今後の取り組み	今年市制施行60周年を迎えた秦野。7月には、「秦野盆地湧水群」が名水百選に選定され30年を迎え、改めて全国に秦野名水の魅力を発信していきます。
問い合わせ	環境産業部環境保全課地下水・環境指導担当 担当：堀野 電話0463（82）9618